

長久手は期待に応えるまち  
手間をかけて自分達に合うようまちをつくり変える

前章では将来の長久手での暮らし方を物語として表現したが、それは本懇話会や若者座談会、中学生作文等から引き出した住民のニーズをもとにしている。それらのニーズを分類すると、人・場・時をつなぎ、夢をはぐくむ、という4つの分野に整理できる。ニーズの実現をもとに描くビジョンは、地域・世界に人々の活動がひろがることや情報ネットワークが進化していくことを配慮しておく必要がある。

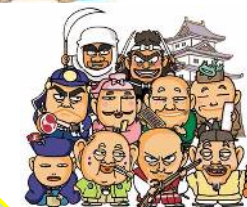
SNS等の発展で、多様なつながりが生まれる。偽物でなく、本物の選択眼が求められる



情報軸  
(パーソナル)

ひろがり軸  
(地域へ)

地域内の関係は  
一層緊密になっている。  
実社会の人間関係も  
情報のやり取りも



長久手に住みたい

長久手に  
住み続けたい



世界との関係は  
一層緊密になっている  
生身の人間関係も  
情報のやり取りも

ひろがり軸  
(世界へ)

情報軸  
(マス)

大量の世界情報から、  
必要な情報を取り出す  
能力が求められている

